

あわら市景観基本計画（中間報告）

平成 22 年 3 月 2 日

あわら市土木部建設課

1 - 1 景観まちづくりの背景と目的

1. 景観まちづくりの目的と背景

わが国のこれまでの都市づくりは、経済効率の優先や社会資本ストックの量的充足に力点を置いた都市づくりが進められ、成熟期を迎えた諸外国と比べて見劣りがすると指摘されてきました。

こうした中、環境問題への関心の高まり、本格的な少子高齢化の到来、長引く経済不況や財政の硬直化など都市づくりを取り巻く社会経済情勢は大きく変化し、環境や景観を保全と創造や行政主導から市民主体のまちづくり、社会資本の量的な拡大から質の向上など持続可能な都市づくりを進めていく視点が重要となっています。

景観はこれまで、都市の付加価値として快適性を高める役割を果たしてきましたが、今後は都市経営戦略の主要な取り組みとして重要性が高まっています。

年度	景観計画・景観条例の作成	モデル事業の実施	景観写真コンテスト
H21 年度	景観の現況・課題の整理 景観形成の目標 景観形成の方針 景観基本計画(素案)の作成	金津灯りのまちづくり実践支援 素材と灯りの勉強会 花と緑のイベント支援	
H22 年度	景観基本計画(原案)の作成 景観計画区域の設定 良好な景観の形成方針 行為の制限 景観重要建造物・景観重要樹木の指定の方針 屋外広告物の景観誘導策 その他、必要に応じて検討 景観計画(素案)の作成	街角ガーデニング講座 コミュニティガーデン企画 景観地区の検討会 建築物・屋外広告物・看板・色彩・店舗・デザインルール勉強会 明るさ診断ワーク 花と緑のイベント支援	冬の写真募集・展示 春の写真募集・展示 夏の写真募集・展示 秋の写真募集・展示 審査・表彰
H23 年度	住民説明 関係機関との協議 景観計画(原案)の作成 ↓ 計画図・計画書の作成 ↓ 景観計画・概要版の作成 景観条例案の作成 業務報告書の作成	街角ガーデニング講座 コミュニティガーデン講座 景観まちづくり組織勉強会 灯りのデザインワーク 花と緑のイベント支援	

2. あわら市の景観基本計画がめざしたいこと

計画づくりから市民の人と考える、つくりあげたい

あわら市では、市民のまちをよくしたいという情熱に基づく活動と、市が市民のまちづくりを支える姿勢を持つことにより、よりよい景観まちづくりにつなげると考えています。

市民一人ひとりが、日常的に身近なところから参加し、ともに美しいあわらの自然とまちづくりを次世代へつなげるために、計画をつくることから、市民の方と一緒に考え、実現に向けて取り組んでいきます。

美しいあわらの景観をつくるための目標や景観イメージを共有したい

平成 21 年度のワークショップによる景観基本計画づくりでは、めざしたい景観の目標や景観イメージを話し合い、共有していきます。

あわらの風景を発見し、守り、育みたい

この景観基本計画の一環として企画した景観写真コンテスト「風景発見ノススメ」では、市内外の方の独自の視点であわらならではの風景や美しい景色を再発見し、ともに守り、育むものを探していきたいと考えています。

がんばっている市民を応援したい

計画づくりで終わることなく、市民が主体となって取り組んでいる実践の景観まちづくりをモデル事業として位置づけ、専門家を派遣する等の応援をしたいと考えています。

今年度は、JR芦原温泉駅周辺における花と緑のまちづくりや金津灯りのまちづくりを応援します。市民みなさんの地域や活動の中で、みんなで美しい景観づくりに取り組みたい、という気運があれば相談にのります。

2 景観基本計画の位置づけと役割

1. 景観基本計画の位置づけ

本計画は、「あわら市総合振興計画」「あわら市都市計画マスタープラン」を踏まえ、関連計画と連携を図りながら、良好な景観の創出を目標とする景観に関するマスタープランとして位置づけます。

2. 景観基本計画の役割

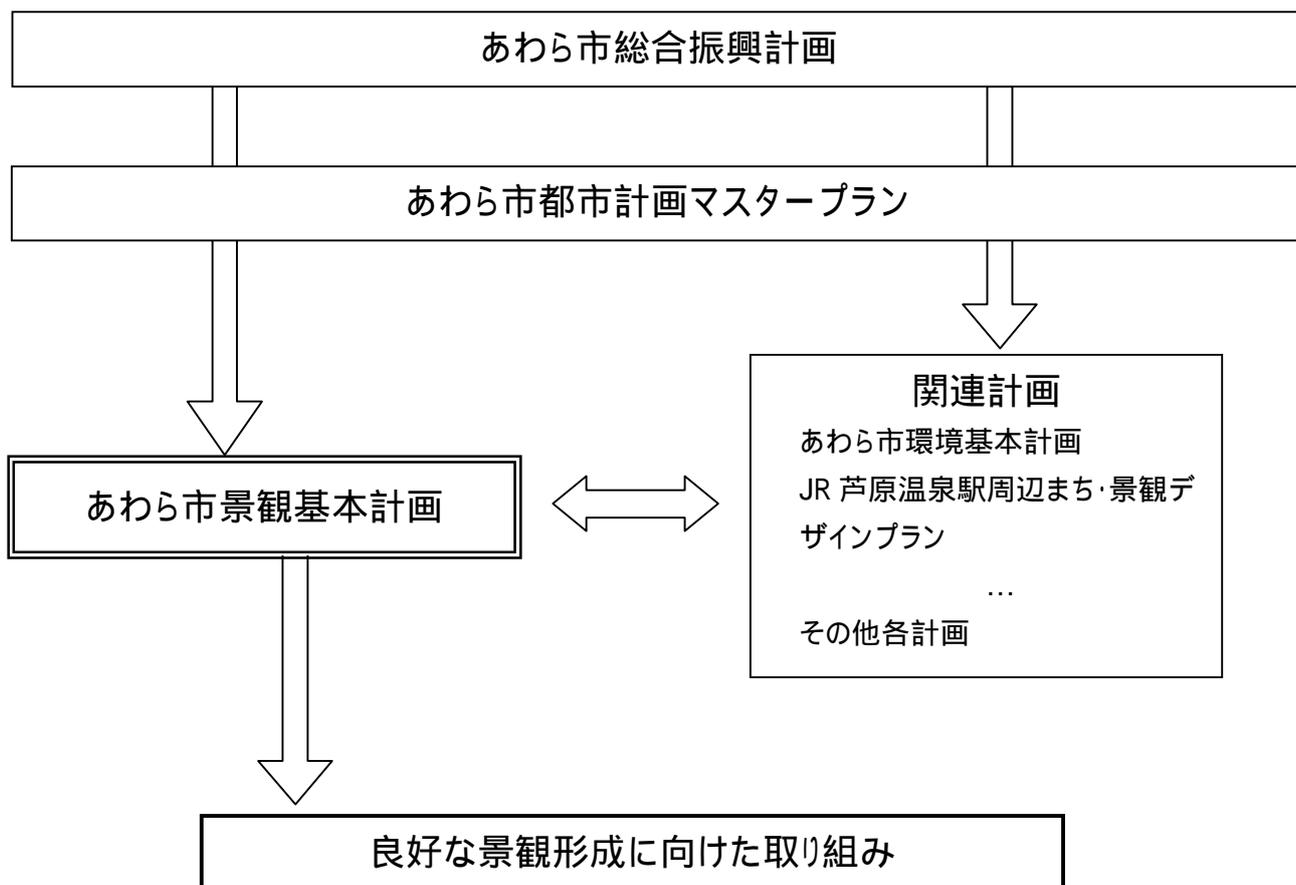
総合的な指針(一体的・統一的)

中長期視点に立ったあわら市の良好な景観づくりの方針と実現に向けた持続的かつ戦略的な景観まちづくりを展開していくための総合的な指針としての役割を担います。

市民と行政の協働の景観まちづくりの指針

本計画は、市民や事業者が身近なあわらの魅力を見直し、市民と行政が協働で建築の計画や地域での活動などに取り組むための指針としての役割を担います。

【あわら市景観基本計画の位置づけ】



3 景観とは

景観という言葉は、やや難しく聞こえますが、一般には、わたしたちが風景や景色と呼んでいるものとはほぼ同じように使われています。

山並みや川、田園、神社、歴史的な街並み、街道、住宅や業務施設、道路、公園などわたしたちを取り巻く目に見える姿ももちろんですが、四季移ろいゆく花の姿や朝・昼・晩によって変わる暮らしの情景、心に懐かしく浮かんでくる心象風景なども捉えたいと思います。

景観の要素や概念は以下のように考えています。こうしたものをヒントに、市民の方々が身近に感じる風景や景色、お気に入りの風景や景色、改善したい風景や景色を検討します。

景観の要素

自然景観 - 地形特性が反映され、景観の骨格を形成している景観

歴史文化景観 先人の足跡を今に伝え、寺社や街道など有形の歴史文化がつくる景観

市街地景観 住宅や商業施設、業務施設、工場、公園や道路、鉄道、公共公益施設などによって形成された街並み

生活風景 人々の暮らしが見せる様々な活動の様子、祭りや伝統行事等の無形の歴史文化、校歌の地名など人々に共有され心に懐かしく浮かんでくる心象風景

景観の捉え方

位置 - 山頂から眺めるまちの広がり、農道から眺める白山連峰など位置によって様々な姿を見せてくれます。

距離 - 離れたところからみる建物の形態意匠や歩きながら見る街並みなど距離の違いによって変化します。

季節 花の咲く春、青葉の茂る夏、稲穂の輝く秋、雪に覆われる冬など、季節によって山並みや田園風景、街路樹など景観の表情が変わります。

時間 早朝の小鳥がさえずるまちの静けさ、田園に沈む夕日、家々の灯りがともる時間の経過による明るさや音などによっても景観は変化します。

天候 雨にけむる並木道、雪で覆われた白一面の街並みなど天候も景観に大きな影響を与えます。

4 平成 21 年度 景観基本計画の全体の流れ

平成 21 年度は、景観基本計画(素案)をつくるために、3回のワークショップを実施します。

ワークショップとは、カードで意見を書いたり、グループで話し合ったりすることで誰もが発言でき、出し合った意見を共有しながら創造的に進めていく会議の方法です。

平成 22 年度は、市民のみなさんとともに考えた「景観基本計画」を踏まえ、望ましい街並みや看板の色や形、自然の風景を保全する方法など具体的に検討する「景観計画」を作成します。

第1回 ワークショップ

日 時:平成 21 年1月 12 日

目 的:あわら市の好きな風景や景色、改善したい風景や景色を出し合う。

内 容:ショートレクチャー「景観のまちづくり」(講師:立命館大学 高田教授)
ワークショップ「私の好きな風景、改善したい風景を出し合おう」

第2回 ワークショップ

日 時:平成 22 年2月 8 日

目 的:めざしたい景観の目標や景観イメージを出し合う。

内 容:ワークショップ「将来の風景を描こう」

第3回 ワークショップ

日 時:平成 22 年3月 16 日

目 的:実現に向けて、市民及び行政がそれぞれにできることを出し合う。

内 容:ワークショップ「実現に向けて できることを考えよう」

5 地域別の景観基本方針

1 地域別の景観基本方針の構成

ここでは、地域の特性に合った景観の形成を推進するために、地域ごとに景観づくりのテーマや方針を整理し、地域別の景観基本方針として整理しています。

地区の特性と景観づくりの課題

市民参加型ワークショップの意見をもとに、地域の特徴的な自然景観資源、歴史文化資源、市街地景観資源、生活風景を景観現況図に整理し、景観づくりの課題を抽出します。

景観づくりのテーマ

地域の景観特性を生かす景観づくりのテーマ、目標を掲げます。

景観づくりの方針

地域の景観特性を生かし、より具体的な景観づくりを展開していくための方針を掲げ、景観方針図に示します。

地域別ビジョン 『温泉・山方・里方地区』

<p>地区の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内随一のあわら温泉を有する市街地と広大な田園地帯と斜面林で構成されており、田園に浮かぶように立地する温泉街が特徴的な景観となっています。 ○えちぜん鉄道や車窓から眺める田園景観は、コンヒカリや蕎麦づくりなど農地で働く人々の姿、地平線に沈む真っ赤な夕日、冬の雁の群れなど四季折々の風景があります。 ○温泉街は近代的な旅館が立地し、閑散とした街並み景観となっています。 	<p>景観方針図</p>					
<p>景観のポイントと課題の整理</p> <p>1. 多彩な自然と温泉街を結ぶ あわら温泉街は、広大な田園と丘陵地の豊かな自然資源の中に立地していることが特徴となっていることから、周辺の多彩な自然風景と融合した景観づくりが求められています。</p> <p>2. あわら温泉街の景観を創造する あわら温泉街は、緑や温泉街らしい情緒が乏しく閑散とした景観となっていることから、旅館の壁面や看板の改善やオープンスペースの緑化、旅館の庭の活用、夜景の演出など温泉街としての新たな景観ビジョンの創造が求められています。</p> <p>3. 田園を守り、生かす 南部平坦地の広大な田園地帯は、農作業風景、えちぜん鉄道や夕日、雁の群れなどの四季折々の生活風景が彩りをもたらしていることから、四季の風物詩を活かした田園の保全が求められています。</p> <p>4. 農村の風景を守る 田園地帯に点在する農村集落は、まとまりのある家並みと神社の巨木や生垣がふるさとの原風景となっていることから、農業の営みと調和した景観の保全が求められています。</p>	<p>基本目標 (第2回ワークショップから)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然風景と温泉街が融け合う景観をつくる 回遊性を生み出し、夢を与える温泉街の景観をつくる 温泉街と住宅地が調和した景観をつくる 四季折々の田園風景を守り、生かす 	<p>景観づくりの方針 (第2回ワークショップから)</p> <ul style="list-style-type: none"> 並木道をモチーフにした連続性のある美しい沿道景観づくり 街路樹の美しい剪定方法などガイドラインの作成 土砂採取跡の緑化 あわら湯のまち駅前の建物: 色彩の統一や緑化 看板類の大きさ、色彩の統一、電柱地中化を検討 舗装・街灯・サインなどの統一デザインによるイメージづくり 板塀や緑化など温泉街らしい景観づくり 街灯の機能とデザインの見直しや整備 緑豊かな歴史資源の保全と創出 杉田定一郎や老舗旅館など良い建築物の指定や活用 大規模な空き地の生垣や板塀による沿道景観づくり アパート、住宅の建て方やしつらえの統一感 四季の変化が豊かな田園風景の保全 夕日や雁の群れが見ることができる視点場としての紹介 看板の大きさや色彩を規制し、田園にふさわしい景観づくり 				
<p>景観の基本要素 キーワード(第1回ワークショップから)</p> <table border="1"> <tr> <th>好きな風景・景色</th> <th>改善したい風景・景色</th> </tr> <tr> <td>橋からみる白山連峰 丘陵地の風土 古い旅館、旅館の庭 石畳 セントピアあわらの芝生 杉田定一郎 金津・芦原線の並木道 えちぜん鉄道沿 干し大根、干し柿など原風景</td> <td>閑散とした温泉街景観 暗い街灯 殺風景な薬師堂の周り あわら湯の町駅の印象 五感、せせらぎのある景観</td> </tr> </table>	好きな風景・景色	改善したい風景・景色	橋からみる白山連峰 丘陵地の風土 古い旅館、旅館の庭 石畳 セントピアあわらの芝生 杉田定一郎 金津・芦原線の並木道 えちぜん鉄道沿 干し大根、干し柿など原風景	閑散とした温泉街景観 暗い街灯 殺風景な薬師堂の周り あわら湯の町駅の印象 五感、せせらぎのある景観		
好きな風景・景色	改善したい風景・景色					
橋からみる白山連峰 丘陵地の風土 古い旅館、旅館の庭 石畳 セントピアあわらの芝生 杉田定一郎 金津・芦原線の並木道 えちぜん鉄道沿 干し大根、干し柿など原風景	閑散とした温泉街景観 暗い街灯 殺風景な薬師堂の周り あわら湯の町駅の印象 五感、せせらぎのある景観					

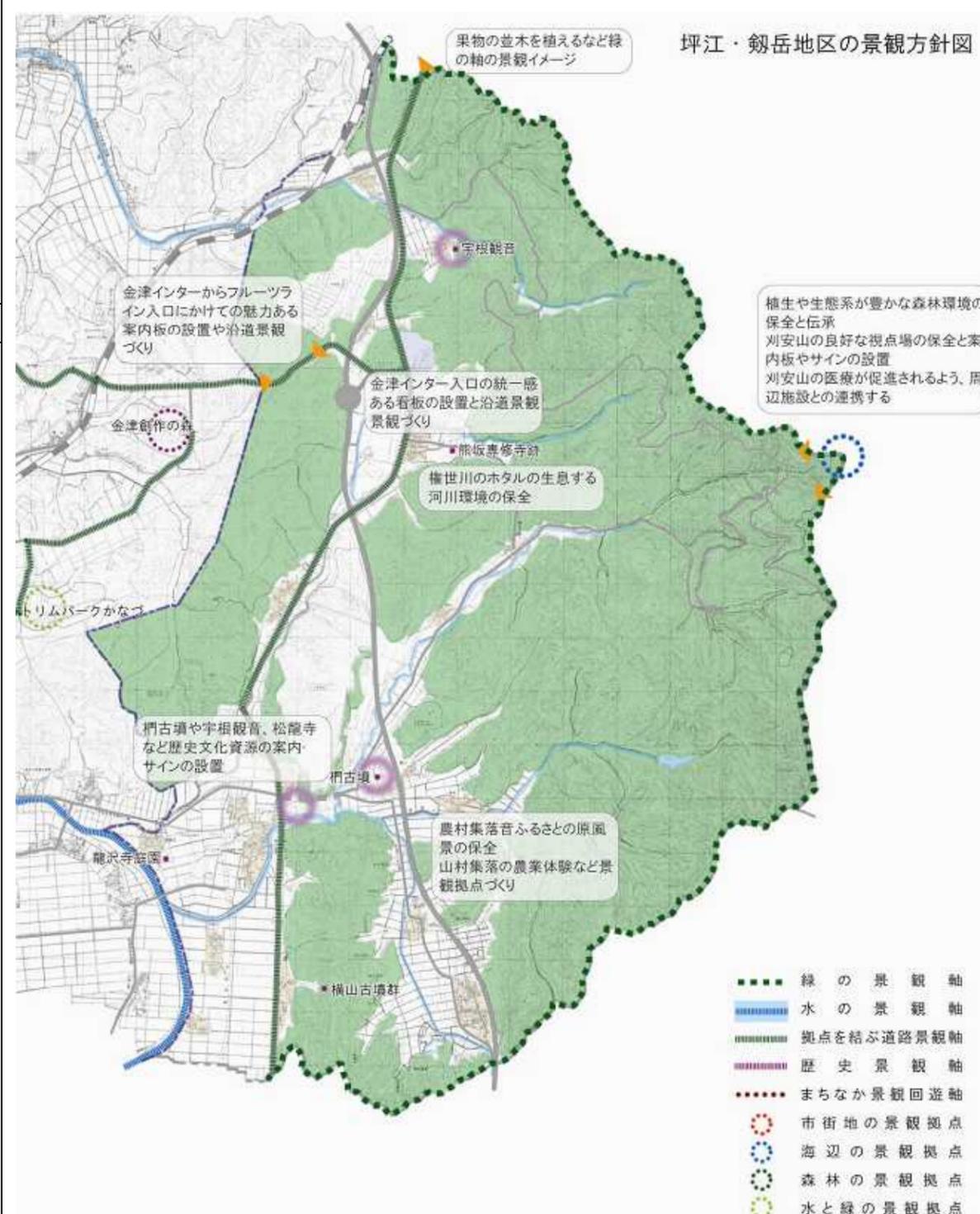
地域別ビジョン 『金津地区』

地区の特性		景観方針図	
<p>○金津市街地と丘陵地で構成されています。</p> <p>○金津市街地には竹田川が東西に流れ、多くの寺社が点在し、歴史的な風情をわずかに残しています。</p> <p>○たたら場の鉄を水運で運び、北陸街道の宿場町としてのまちがつけられてきたという歴史があり、金津祭りの本陣飾りが今なお生活文化として人々に受け継がれています。</p> <p>○JR 芦原温泉駅周辺に商業地・工場地・住宅地が集積し、竹田川以南は新しい住宅地、店舗や公園や幹線道路沿いに都市的な景観を形成しています。</p>			
景観のポイントと課題の整理			
<p>1. 竹田川と街を結ぶ景観をつくる</p> <p>金津市街地を東西に流れる竹田川は、水面や散策道、樹木、夕日、野鳥などと織りなす風景が人々の心に深く息づいていることから、まちの顔として、日常的に親しめる場として、より一層、街とのつながりをもたらす景観軸、景観拠点づくりが求められています。</p> <p>2. 歴史文化を感じる街並みをつくる</p> <p>金津市街地には、北陸街道や寺社や句碑、金津祭りの本陣飾りなど宿場町としての歴史の面影を残していることから、貴重な歴史文化資源として次世代へとつなげていく景観形成が求められています。</p> <p>3. 北陸の玄関口にふさわしい都市景観をつくる</p> <p>JR 芦原温泉駅周辺は、全体的に老朽化が進み、まちとしての統一的なデザインや街路樹、街灯、街路の整備が求められていることから、北陸の玄関口にふさわしい景観ビジョンとこれに即した景観形成を推進する必要があります。</p> <p>4. 金津らしい夜の景観をつくる</p> <p>街灯の老朽化や空き店舗などにより、夜は暗い街並みとなっていることから、まちぐるみで金津らしい灯りの景観づくりが求められています。</p>			
景観の基本要素 キーワード(第1回WSから)		基本目標(第2回ワークショップから)	
好きな風景・景色	改善したい風景・景色	景観づくりの方針(第2回ワークショップから)	
<p>稲荷山の風景</p> <p>竹田川の流れ・散策道</p> <p>橋からの風景</p> <p>イチョウや生息動物</p> <p>丘陵地折り重なる風景</p> <p>千束の田園風景</p> <p>金津創作の森周辺</p> <p>金津神社から脇出通り</p> <p>工場地の桜</p> <p>JR沿線の風景</p> <p>金津祭の老若男女</p>	<p>稲荷山の風景</p> <p>人々が集まるための竹田川の植樹</p> <p>市民による竹田川の活用</p> <p>空き家</p> <p>駅前での暗い街灯</p> <p>駅前での植栽</p> <p>駅前での電柱や歩道段差</p> <p>店舗の統一性なさ</p> <p>空き店舗の景観</p> <p>街路樹の伐採</p> <p>本陣飾りの展示場</p>	<p>福井の北の玄関口にふさわしい景観をつくる</p> <p>歴史資源を生かした回遊性のある景観をつくる</p> <p>竹田川を生かした景観拠点や景観軸をつくる</p> <p>市街地の良好な景観をつくる</p>	
		<p>歩道の拡幅、電柱地中化、街路樹の一体的な整備</p> <p>駅前の店舗の看板の大きさ、色彩の統一</p> <p>のれん・ベンチ・花など店舗のデザインの創出</p> <p>まちの顔にふさわしい花と緑のまちづくり</p> <p>金津らしい街灯やイルミネーションなど灯りのまちづくり</p> <p>寺社や竹田川などの視点場の発掘と回遊性の創出</p> <p>瓦や鉄など金津の素材を生かした案内版やサインの設置</p> <p>碑やお地藏さん、大木など身近な景観スポットの活用</p> <p>寺社と周辺の建築物による統一的な街並み景観づくり</p> <p>竹の塀や生垣によるなつかしい雰囲気のある路地の景観づくり</p> <p>美化活動による野鳥などが生息する河川環境の保全</p> <p>竹田川と市街地を結ぶ景観軸・景観拠点づくり</p> <p>ベンチの設置など橋や河川公園の景観眺望ポイントの創出</p> <p>住宅地に調和した工場地の緑化や色彩や意匠</p> <p>幹線道路の看板や広告物の大きさや色彩などの規制</p> <p>生垣や植樹などによる住宅地の緑化</p>	

地域別ビジョン 『本荘・新郷・伊井地区』

<p>地区の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広大な田園地帯と東西に流れる竹田川、山地で構成されています。 ○農村集落は、生垣や屋敷林などを有する日本家屋が集まって美しいまもりを見せています。 ○各集落には神社や鎮守の森があり、子どもたちの遊び場や人々の憩いの場となっています。 ○竹田川の上流にはマガモやサギなどの野鳥や魚が生息し、羽を休める姿が心象風景となっています。 ○昭和公園のある里山や竹田川の橋からの眺望は、夕日をはじめや月・星・蛍など自然の夜景を見ることができます。 		<p>景観方針図</p>					
<p>景観のポイントと課題の整理</p> <ol style="list-style-type: none"> 四季の豊かな田園風景を守る 田園地帯は、朝日や夕日、夜空と一体となった自然との原風景が人々の心象風景となっていることから、看板や建築物など建物の景観に配慮し、集落や神社と一体となった景観の保全が求められています。 里山、昭和公園、古墳など景観拠点をつくる たこ山や昭和公園は、平野を見晴らす眺望を有することから、親しみのある景観拠点としての活用が求められています。 竹田川と生息動物の環境を守る 竹田川の上流は、野鳥や魚、ホタルなどの動物が生息する環境が残されていることから、ゴミや廃棄物などの処理を抑制し、美しい環境づくりが求められています。 歴史・文化を伝承する 伊井遺跡や榎古墳、横山古墳など場所やいわれなど伝わりにくくなっていることから、サインの整備により伝承により次世代へ継承していくことが求められています。 		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1092 1423 1855 1470">基本目標 (第2回ワークショップから)</th> <th data-bbox="1855 1423 2837 1470">景観づくりの方針 (第2回ワークショップから)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1092 1470 1855 1915"> <ul style="list-style-type: none"> 農村風景を守り、伝える 歴史資源を保全し、伝承する 農村ならではの眺望景観をつくる 新しい景観の創出や活用 </td> <td data-bbox="1855 1470 2837 1915"> <ul style="list-style-type: none"> 実のなる木の植樹や生垣や既存樹木の保存による緑化 農村集落と調和のとれた建築物の素材や形態の工夫 集落の神社の大木や寺社林の保全 農村集落の生垣や屋敷林の保全や植樹などの緑化 イチョウやケヤキなど集落の鎮守の森や大木の保全 古墳や伊井遺跡など歴史文化資源の案内・サインの設置 昭和公園からの見通しのよい眺望の確保 里山として楽しめる空間づくり 川の魅力を高める橋のデザインや視点場の創出 月灯り、星灯り、ホタルの灯りなど自然ならではの夜景の保全 工業団地の敷地の緑化や周辺の沿道を並木道による田園風景と一体となった景観づくり 無人の駅舎などおもむきのある風情の保全や活用 コスモス畑など休耕田を活用した景観づくり </td> </tr> </tbody> </table>		基本目標 (第2回ワークショップから)	景観づくりの方針 (第2回ワークショップから)	<ul style="list-style-type: none"> 農村風景を守り、伝える 歴史資源を保全し、伝承する 農村ならではの眺望景観をつくる 新しい景観の創出や活用 	<ul style="list-style-type: none"> 実のなる木の植樹や生垣や既存樹木の保存による緑化 農村集落と調和のとれた建築物の素材や形態の工夫 集落の神社の大木や寺社林の保全 農村集落の生垣や屋敷林の保全や植樹などの緑化 イチョウやケヤキなど集落の鎮守の森や大木の保全 古墳や伊井遺跡など歴史文化資源の案内・サインの設置 昭和公園からの見通しのよい眺望の確保 里山として楽しめる空間づくり 川の魅力を高める橋のデザインや視点場の創出 月灯り、星灯り、ホタルの灯りなど自然ならではの夜景の保全 工業団地の敷地の緑化や周辺の沿道を並木道による田園風景と一体となった景観づくり 無人の駅舎などおもむきのある風情の保全や活用 コスモス畑など休耕田を活用した景観づくり
基本目標 (第2回ワークショップから)	景観づくりの方針 (第2回ワークショップから)						
<ul style="list-style-type: none"> 農村風景を守り、伝える 歴史資源を保全し、伝承する 農村ならではの眺望景観をつくる 新しい景観の創出や活用 	<ul style="list-style-type: none"> 実のなる木の植樹や生垣や既存樹木の保存による緑化 農村集落と調和のとれた建築物の素材や形態の工夫 集落の神社の大木や寺社林の保全 農村集落の生垣や屋敷林の保全や植樹などの緑化 イチョウやケヤキなど集落の鎮守の森や大木の保全 古墳や伊井遺跡など歴史文化資源の案内・サインの設置 昭和公園からの見通しのよい眺望の確保 里山として楽しめる空間づくり 川の魅力を高める橋のデザインや視点場の創出 月灯り、星灯り、ホタルの灯りなど自然ならではの夜景の保全 工業団地の敷地の緑化や周辺の沿道を並木道による田園風景と一体となった景観づくり 無人の駅舎などおもむきのある風情の保全や活用 コスモス畑など休耕田を活用した景観づくり 						
<p>景観の基本要素 キーワード (第1回WSから)</p>							
<p>好きな風景・景色</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹田川や河原 橋や橋からの眺め 四季や自然現象(夕日、虹) 里山からの眺め 轟木の蓮如堂や浄光寺 春日神社と鎮守の森 昭和公園からの眺望 本荘駅の駅舎 	<p>改善したい風景・景色</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹田川のゴミ 変化のない田園風景 湧き水の枯渇 春日神社の木の伐採 伊井遺跡の案内 昭和公園の活用 						

地域別ビジョン 『坪江・劔岳地区』

地区の特性		基本目標(第2回ワークショップから)	景観方針図
<p>○刈安山・風谷峠・劔ヶ岳が連なる深い森林と山村集落で構成されています。</p> <p>○北陸自動車道やかつての朝倉街道であった国道8号など幹線道路が南北に走っています。</p> <p>○ホテルや野生動物が生息する自然環境を有しています。</p> <p>○刈安山からみる坂井平野の眺望や加賀市や丸岡町に抜ける峠、熊坂大権現など戦国時代に人々が往来した足跡をみることができます。</p>		<p>尾根の緑の軸を守り、眺望を生かす</p> <p>生物が息づく農村集落や山村集落を守り、生かす</p> <p>歴史文化資源に光をあてて紹介する</p> <p>福井県の玄関口を美しく演出する</p>	<p>坪江・劔岳地区の景観方針図</p>  <p>果物の並木を植えるなど緑の軸の景観イメージ</p> <p>植生や生態系が豊かな森林環境の保全と伝承 刈安山の良好な視点場の保全と案内板やサインの設置 刈安山の医療が促進されるよう、周辺施設との連携する</p> <p>金津インターからフルーツライン入口にかけての魅力ある案内板の設置や沿道景観づくり</p> <p>金津インター入口の統一感ある看板の設置と沿道景観景観づくり</p> <p>熊坂大権現の生息する河川環境の保全</p> <p>農村集落音ふるさとの原風景の保全 山村集落の農業体験など景観拠点づくり</p> <p>横山古墳群</p> <p>龍泉寺跡</p> <p>龍谷寺跡</p> <p>金津創作の森</p> <p>トリムパークかなづ</p> <p>金津インターからフルーツラインにかけての魅力ある案内板の設置や沿道景観づくり</p> <p>金津インター入口の統一感ある看板や案内板の設置</p> <p>国道8号は福井の玄関口として果物の並木を植えるなど緑の軸の景観イメージづくり</p> <p>横山古墳群</p> <p>龍泉寺跡</p> <p>龍谷寺跡</p> <p>金津創作の森</p> <p>トリムパークかなづ</p> <p>熊坂大権現の生息する河川環境の保全</p> <p>農村集落音ふるさとの原風景の保全 山村集落の農業体験など景観拠点づくり</p> <p>歴史文化の景観拠点</p> <p>視点場と眺望</p>
景観のポイントと課題の整理		景観づくりの方針(第2回ワークショップから)	
<p>1. 森林景観や眺望を守り、活かす 刈安山・風谷峠・劔ヶ岳の山並みや刈安山からの眺望は、まちの骨格軸として、全体を見渡す視点場として、大きな役割を有していることから、森林景観の保全や活用が求められています。</p> <p>2. 山村集落を保全し、活用する 森林景観を背景にした田園や山村集落は、まとまりのあるふるさと風景として人々に親しまれていることから、風景として保全するとともに体験農業など景観拠点としての活用が求められています。</p> <p>3. 沿道景観(案内版・看板・サイン)を改善する 石川県との県境、福井県の北の玄関口として、北陸自動車道や金津インター、国道8号など幹線道路に置いて、看板や案内など乱雑な景観となっていることから、統一的でわかりやすい案内板・看板のサイン整備が求められています。</p> <p>4. 歴史文化を伝承する 宇根観音や集落内の神社など生活の中で根づいてきた歴史的資源は、時代とともに薄れていく傾向にあることから、次世代への伝承が求められています。</p>		<p>植生や生態系が豊かな森林環境の保全 刈安山の良好な視点場の確保と案内板やサインの設置 刈安山と余熱館の利用など周辺施設との連携 権世川のホタルの生息する河川環境の保全 農村集落のふるさとの原風景の保全 山村集落の農業体験など景観拠点の創出 横山古墳や宇根観音、松龍寺など歴史文化資源の案内・サインの設置 金津インターからフルーツラインにかけて沿道景観の創出 金津インター入口の統一感のある看板や案内板の設置 国道8号は福井の玄関口として果物の並木を植えるなど緑の軸の景観イメージづくり</p>	
景観の基本要素 キーワード(第1回WSから)			
好きな風景・景色	改善したい風景・景色		
<p>刈安山からの眺望や山道</p> <p>秋の刈安山</p> <p>丘陵地からみる白山と山々</p> <p>平野から眺める刈安山と月</p> <p>権世川や下金屋区のホテル</p> <p>農村集落風景</p> <p>松龍寺の千体仏</p> <p>宇根観音と境内</p> <p>神明神社のどんぐり</p> <p>牛ノ谷寺社周辺の桜と学生</p> <p>畝市野々の寺社</p>	<p>刈安山の頂上の整備</p> <p>農村部</p> <p>横山古墳の場所</p> <p>県境付近の案内看板の設置</p>		